

のや「野焼き」がつくる、緑のじゅうたん

野焼きは、昔からおこなわれてきた大事な作業だ。古い草を焼くことで、草花の新しい芽を育ちやすくするんだ。野焼きは、地元の人たちが力を合わせて取り組んでいるけど、最近では、都会からボランティアの人たちも手伝いに来ているんだ。



黒こげの草原も、新芽の緑や咲きほころぶ花で、黄色やコバルト色になるんだよ。

まわりの森林に火が燃え移らないように、草を短く刈っておくんだ。これを「輪地切り」というよ。

ごうごうと燃える炎が斜面を駆け上る。大迫力の野焼きのあと、草原は黒一色になるよ。



雪の中の牛たち

牛は寒さに強く、冬でも草原の中で元気に草を食べる姿を見ることができる。

冬期



火振り神事 (阿蘇市)

豊作を祈って行われる神様の結婚の儀式。火のついた、たいまつを振って姫神を迎える。

3月申の日



野焼き

この時期、草原のあちらこちらで野焼きの炎が燃え上がる。草原を守るために大昔から続けられてきたもの。

3月彼岸前後



芽生え

野焼き後の黒い山肌には、春を待っていた草の芽が次々と吹き出て春の訪れを告げる。

3月下旬～

2月

2007年

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 節分
4 立春	5	6	7	8	9	10
11 建国記念日	12 振替休日	13	14	15	16	17
18	19 雨水	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

阿蘇
草原再生
子供たちへ引き継ぐ千年の草原
牛、草、火そして人
いのちの草原いきいきと

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 啓蟄	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21 春分の日	22	23	24
25 社日	26	27	28	29	30	31